

令和 7 年度秋期 プロジェクトマネージャ試験合格発表 分析コメント

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2025,12,25

10 月 12 日 (日) に行われた令和 7 年度秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。IPA から発表された得点分布など統計データの分析結果をもとにして、情報処理安全確保支援士試験の分析コメントをお知らせします。

■プロジェクトマネージャ試験 (PM)

〔令和 7 年度秋期 プロジェクトマネージャ試験 統計情報〕

応募者	13,540 人
受験者	8,511 人
合格者	1,219 人
合格率	14.3 %

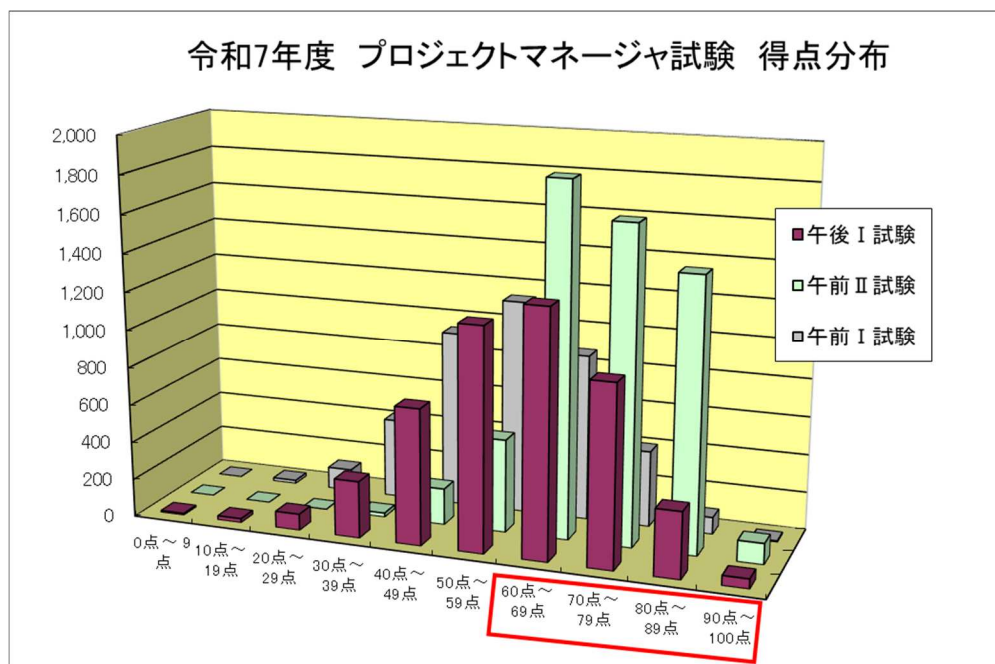
令和 7 年度秋期のプロジェクトマネージャ試験の合格率は 14.3%で、前回の 13.9%から少し増えましたが、平成 21 年以降の今の試験制度になってからとしては平均的よりやや高い合格率です。

次に発表された得点分布の分析とグラフを示します。

〔令和 7 年度秋期 プロジェクトマネージャ試験 スコア分布〕

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	0	9	D 263	
10点～19点	17	0	21		
20点～29点	115	1	86	C 407	
30点～39点	421	21	299		
40点～49点	932	192	714	B 725	
50点～59点	1,131	490	1,168		
60点～69点	874	1,843	1,290	A 1,219	
70点～79点	401	1,651	946		
80点～89点	89	1,424	345		
90点～100点	6	110	51		
計	3,986	5,732	4,929	2,614	1,219
対前試験比率		143.8%	86.0%	53.0%	46.6%
午前Ⅰ免除者概算	4,525	53.2%			

合格者数	1,219	採点者数の割合	合格者数との差
午前 I 60 点以上合計	1,370	34.4%	151
午前 II 60 点以上合計	5,028	87.7%	3,809
午後 I 60 点以上合計	2,632	53.4%	1,413
午後 II -A 評価	1,219	46.6%	0



午前Ⅰ試験免除の人は増える傾向にありますが、得点分布を分析してみると、今回午前Ⅰ試験の免除者は概算で4,525人（53.2%）おり、受験者の5割が午前Ⅱからの受験となっています。この午前Ⅰ試験で基準点60点以上取ることができた人は1,370人（受験者の34.4%）でした。前回は受験者の65.2%が60点以上取れていて今回大幅に減ったので、試験が難しかったことを示しています。

午前Ⅱ試験で基準点以上の人は5,028人（受験者の87.7%）でこちらは前回の67.7%から大きく増えています。これは、難しかった午前Ⅰ試験を通過した人であることによるものと思われます。

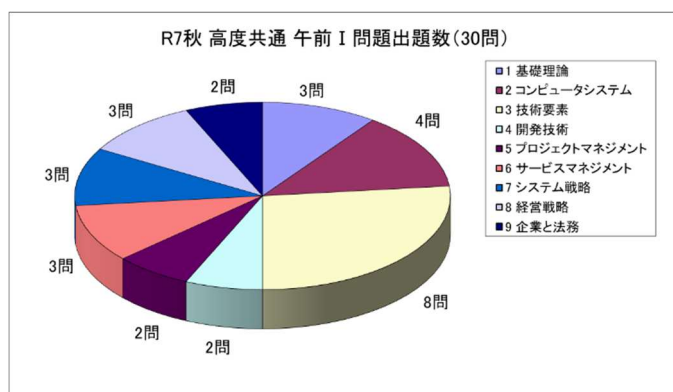
また、午後Ⅰで基準点（60点）以上取れた人は53.4%で、前回の61.0%から減りました。最後の午後Ⅱで合格点のA評価だった人は46.6%で、前回試験の44.1%から少し増えています。

■令和7年度秋期 プロジェクトマネージャ試験の出題内容について

〔午前Ⅰ試験（高度試験の共通知識問題）〕 30問出題／30問解答，50分

高度試験で共通して出される午前Ⅰ試験の30問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験（AP）の午前試験80問の中から選ばれていて、テクノロジー系17問（57%）、マネジメント系5問（17%）、ストラテジ系8問（26%）という出題比率です。

午前Ⅰ試験には免除制度がありますが、高度試験を受ける人の約4割が午前Ⅰ試験から受験しています。今回の午前Ⅰ試験で60点以上の得点で突破できた人は高度試験全体で40.6%いましたが（前回は44.6%）、平均的には5～6割の突破率なので、今回と前回の試験が難しかったことを示しているといえます。出題範囲が広いため問題を難しく感じる人がかなり多く、最初の午前Ⅰ試験でつまづかないように、早めに試験対策の学習を始め、確実に知識を理解していく必要があります。



・今回の午前Ⅰ試験は、約6割が過去問題でしたが、難しい考察問題が減って、文章問題が増え、

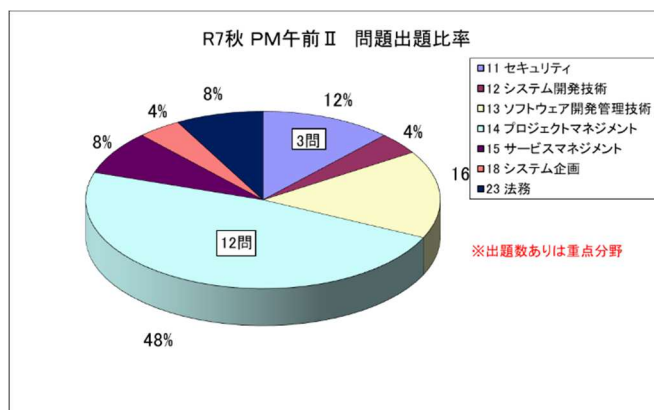
前回より解きやすい試験だったといえます。

- ・重点分野のセキュリティの出題数は前回と同じ 4 問で、最も多い出題数です。
- ・新傾向問題は 7 問で前回の 8 問とほぼ同じでしたが、難しい内容のものは少なかったといえます。

〔午前Ⅱ試験（専門知識問題）〕 25 問出題／25 問解答，40 分

午前Ⅱ試験では，専門分野のプロジェクトマネジメント（PM）分野から 12 問出題されました（前回と同じ）。前回試験実施前に PMBOK が第 7 版に変わり出題されるか注目しましたが，前回に続いて今回もありませんでした。なお，JIS Q 21500:2018「プロジェクトマネジメントの手引」からは 4 問の出題がありました（前回 2 問）。過去問題の出題は約 7 割ありましたが，プロジェクトマネージャ試験の過去問題は 7 問ありましたが，複数の年度の試験から少しずつ選ばれていました。

午前Ⅱ試験の内容で注意すべきこととして，実務内容に近い事例を提示して考える問題が出題される場合です。このような問題は解答するのに時間がかかるので注意が必要です。今回は 1 問だけでしたが，前々回の R5 年試験では 4 問もありました。次回の試験で，またこのような問題が増える可能性もあるので，R5 年度の午前Ⅱ問題を解き，正解できるように学習しておいてください。



〔午後Ⅰ試験〕 3 問出題／2 問解答，90 分

午後Ⅰ問題の出題内容は，問 1 がプロジェクトの計画，問 2 がステークホルダ・コミュニケーション，問 3 がプロジェクトの計画変更・リスク対応でした。このうち，問 1 では生成 AI の活用という新しい内容が含まれていましたが，個別の AI 知識が必要な問題ではありませんでした。全体としてオーソドックスな内容で例年どおりの難易度だったといえます。

- ・問 1 生成 AI 活用のシステム開発・導入・運用・保守を行うプロジェクトの計画立案（予備校） 普通～やや難
- ・問 2 製薬会社における CRM 刷新プロジェクト（製薬会社） 普通
- ・問 3 プロジェクト実施中の計画変更（商品取引事業） 普通

〔午後Ⅱ試験〕 2 問出題／1 問解答，120 分

午後Ⅱの論述式問題の内容は，問 1 がプロジェクトの資源関連，問 2 がリスクマネジメント関連でした。問 1 はメンバーの技術的側面とは別の「人間的側面」について記述する必要がある，少し書きづらい内容だったといえます。問 2 はプロジェクトマネージャとして実務的にも通常検討するリスクマネジメント関連なので問 1 と比較して書きやすい内容だったと思われます。

なお，これまで設問アの記述文字数は「800 字以内」でしたが，今回の試験では「400 字以上 800 字以内」となり，最低記述文字数の条件が加わっています。

- ・問 1 システム開発プロジェクトにおけるチームの育成計画について
- ・問 2 システムの円滑な稼働開始を危うくするリスクマネジメントについて

■令和 8 年度のプロジェクトマネージャ試験の対策について

次回令和 8 年度から，応用情報技術者と高度情報処理技術者試験が PC で受験する CBT（Computer Based Testing）になることが IPA から公表されました。従来の記述式の設問も CBT で実施されることになっています。なお，プロジェクトマネージャの午前ⅠとⅡの試験は A-

1とA-2試験に、午後Ⅰと午後Ⅱ試験はB-1、B-2試験となり、名称は変わりますが出題内容は変わらないとされています。

まず、科目A-1試験（旧午前Ⅰ試験）対策で気を付ける必要があることとして、出題範囲が非常に広いので、計画立ててなるべく早く試験対策を開始する必要があります。過去の統計情報を分析すると、60点以上取れた人は4割から5割台が多く、問題が難しいときには3割台のときもありました。また、過去に出題された高度の旧午前Ⅱ試験の難しい問題も出題されることがあるので、過去に出題された応用情報技術者試験の問題を演習として活用して、日頃から知識を増やしていき、余裕をもって7割以上正解できるように理解度を上げてください。学習教材としては、これまで出題された出題内容のポイント事項と必須問題を重点的に解説したアイテック刊行の「2026-2027 高度科目A-1・応用情報 科目A試験対策書」で効率よく学習を進めてください。

科目A-2試験（旧午前Ⅱ試験）で専門知識として、プロジェクトマネジメントの問題が出題されますが、科目B-1試験で出題される事例問題の内容を理解するための必須知識といえます。応用情報技術者試験で出題されるプロジェクトマネジメント関連の知識を基礎として、さらに詳細な内容まで理解する必要があります。

科目B-1、B-2試験（旧午後Ⅰ、午後Ⅱ試験）の対策としては、各問題の出題テーマに関連する専門知識を確実に理解し、問題事例に対して学んだ知識が適用できるようになるまで、しっかり演習を行う必要があります。なお、専門知識の中でも特に重要な内容について解説し、科目B試験問題の解法ポイントを論文試験含めて実践的に解説した参考書として、アイテック刊行の「2025-2026 プロジェクトマネージャ「専門知識＋午後問題」の重点対策」がありますので、科目B試験対策の教材として、ぜひ活用してください。また、科目B-2の論文試験対策を重点的に行いたい場合は、実際の論文記述例を数多く収録した「プロジェクトマネージャ 合格論文の書き方・事例集 第6版」がありますので、この教材もぜひ活用してください。